第2回たぶんかきょうせい タストナナー / ir ai会議 in 信州

「企業や地域で進める多文化共生」

11/22

(土) 産業と若者が

13:00~16:30

息づく拠点施設 alllaアルラ

さんかむりょう

伊那市荒井3428番地7

共生社会のヒントを、 知って・感じて・考える1日に!

【多文化共生とは?】

国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として 共に生きていくこと。

(総務省:多文化共生の推進に関する研究会報告書より)

どなたでも 参加可能! 【第一部】13:00~14:45 「実践から学ぶ多文化共生」 ~多文化共生のリアルと可能性~

4名の登壇者による発表とパネルディスカッション 各々の経験や視点から「共に生きる地域社会」 について語ります。

• 酒井信幸 氏

サン工業株式会社取締役 (伊那市西箕輪)

・イェリマ自由理氏

JICA海外協力隊帰国隊員 助産師

・イェリマモーリス氏

ベナン共和国出身 伊那市消防団員

・原レティシャ氏

フィリピン共和国出身 飯田市外国籍児童共生支援員

【第二部】15:00~16:30 ワークショップ 「未来の信州を考える」 ~2050年を想定して~

今から25年後、私たちの信州はどんな姿になっているでしょうか? 「こんな未来になってほしい」を語り合い、「そのために私たちは何ができるか」を、皆さんと一緒に考えます。

お申し込みはこちら

締切 11/19

定員40名

主催:長野県 共催:独立行政法人国際協力機構(JICA)東京センター 後援:伊那市、(公財)長野県国際化協会 協力:長野県青年海外協力隊OB会

お問合せ: 県民文化部県民政策課多文化共生係 026-235-7132/ tabunka@pref.nagano.lg.jp